



## 【特別講演】 12:45～13:45

会場：白鳥ホール

テーマ 『今後の社会福祉専門職制度のあり方について』

講師： 厚生労働省 社会・援護局（依頼中）

## 【記念講演】 14:00～15:15

会場：白鳥ホール

テーマ 『自分の可能性を求めて』

講師 成田 真由美 氏（パラリンピック水泳選手）

中学生の時に横断性脊髄炎を発症し下半身麻痺となり、以後、車椅子生活を余儀なくされる。その後も心臓病、高血圧症などで20回以上の入退院を繰り返した。さらに23歳の時、運転していた車が追突事故に巻き込まれ、頸椎を損傷。その後遺症で左手が麻痺し、体温の調整機能も利かなくなり、障害が増えてしまった。

23歳の時、同じ身体障害者スポーツクラブに通っていた仲間から、水泳大会のリレーのメンバーが足りないの、やってみないかと誘われたのをきっかけに水泳を始める。

パラリンピックにはアトランタ（1996年）、シドニー（2000年）、アテネ（2004年）と3大会連続出場し、合計20個（金15個、銀3個、銅2個）のメダルを獲得。アテネでは、出場した6つの個人種目全てと団体戦のフリーリレーで優勝し7冠、6つの世界新記録、1つの大会新記録を樹立した。50m自由形と100m自由形は3連覇を達成。

主な文献 『私、泳げなかったのに』 神奈川新聞社（1997年）  
『あしたにトライー車いすの金メダル』 アリス館（1997年）  
『夢への前進（ストローク）』 講談社（2001年）など

## 【閉会式】 15:30～

会場：白鳥ホール